

福音時報

第136号 ★ 1964年4月

昭和39年3月25日印刷 (定価20円)

昭和39年4月1日発行

昭和28年3月18日 第三種郵便物認可 送料5部まで 6円

編集・発行者 黒沢久男

印刷所 株式会社 澤印刷所

大阪市生野区東桃谷町3の18

発行所

大阪市阿倍野区寄家山1の16 (原簿大阪12906番)

福音時報社

定価一部20円
一年分 (送料共312円・50部以上は1割引100部以上は2割引送料不要)

信徒大会に期待する

藤田 治 芽

信徒大会も近日に迫った。今日まで日本基督教教会が計画したこの種の集会以準備のためにこんなにも努力した集会があったであろうか。第十二回大会で決議して以来一年半の時間をかけ、多くの討議、研究の後、会の性格を決定したこと。又このために協力した委員と協力者の人数も各中会にわたって非常に多数であることなど皆今日まで例を見ない程である。去る二月十日、十一日に開かれた須磨荘の信徒大会協議会に出席して委員を中心とした参加者全員の祈りと気迫、又運営に当る京阪神諸教会の教職、長老の奉仕等、私の身体にひびく程のものを感じたわけで、この会は必ず成功すると確信せざるを得なかった。

日本基督教教会が十三年間驚異的な成長をとげたことは神の導きとして感謝する他はない。然し今後は今日までの様には進まないであろう。充分

に安易な気持ちを戒めて、神のお召しに答えるにふさわしい態度と生活とに踏み出さねばならない。モーセとともにエジプトを出た神の民イスラエルが約束の地に達するまでに経験した困難と苦心が少々のものでなかった様に、前途には沢山、克服すべき困難や取りくむべき課題がまっている。どうかして、神の恵みのもとに堂々とこれに対処し打ち勝つ群でありたいものである。

元来日本基督教教会が教会と云うことを重んじているときれているのはどんな意味だろうか。これについてはいろいろのことが言えると思う。説教を重んずる、神学的な努力を熱心にする、教会の性格が堅実である。伝道に熱心である。などがあげられる様である。そしてその通りであり、少なくともそうありたいと願っていることに間違いないと思

論 説 「信徒大会に期待する」……藤田治芽 (1)

時 報 寸 評 …… (1)

説 教 「信仰のさげび」……三好新蔵 (2)

聖 書 講 話 「アブラハム」……吉田信夫 (3)

随 想 「身辺雑話」……坂井良助 (3)

中 会 ル ポ 「長老主義の確立を目指して」……(4) (5)

伝 道 「あなたはこれでいきなさい」……樋口春喜 (6)

信 徒 大 会 「信徒大会への希望と期待」……奥茂喜一郎 (7)

報 告 大 中 会 だ よ り …… (8)

編集後記

を重んずると言う理由にはいまい根本的なものがあるとわたしは思う。その根本的なものとは全員が選ばれた一つの民であるとの自覚であると思う。一人の信者、一つの教会がキリストのものであるだけでなく、日本基督教教会が全体として神に属する一つの群なのである。「主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ、すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのものの内にいます。すべてのものの父なる神は一つである。」「日本基督教教会員は一人て職場や家庭で苦闘する時にも又は十人、三十人の少数の集まりで礼拝を守っている時にも、常にこの自覚を持っている筈である。

若し出来れば北海道の最も北の教会から、九州の最も南の教会まで全教職、全会員が共に集まるのが願わしいと思う。そうすればすばらしい人数になるからではなく、その全体が一つの教会であることを知り得るからである。あだかも、二人の老人から出た子供、孫、曾孫が悉く一堂に会する様なものである。大きな喜びではあるまいか。

来る信徒大会は出席者一千人の予想のもとに準備が進められていると言ふ。これを日本基督教教会の現任倍養者五千人に對比すれば五人に一人の割合となるわけである。戦後日本基督教教会の新発足後も、又戦前の日本基督教教会が四百の教会、五万の会員を持っていた時にもこんなことはなかったのだから大変なことである。けれども過去との比較

や、受け入れ態勢から見れば大変であるが、一つの群が主の前に集められる意味においてはむしろ少ないのであって決して多いとは言えない。

信徒大会の諸計画、プログラムの内容などを見れば特別なものを強く感ずる。毎年開く中会や、大会は報告によって反省し、決議によって実行する事務的なものであり、従来の修養会は講演や、聖書釈に依りて吞み込むことが主であった。然し今回は従来の修養会の要素があると同時に全員が徹底的に対話の時間を持つことが出来る様に計画されている。勿論わたしは従来の修養会が上から下働きかける方式、今回のものが下から上に盛り上げる方式とは理解しない。寧ろ参加者一人一人が誰であっても「前進する日本基督教教会」に参加している確実な一人であり、その交わりの中に加えられ、認められ、協力が期待されていることを自覚出来て、疎外され無視される者は一人もなく、自分の問題も取り上げて考えて貰えた喜びを持てる様に計画されているのだと思う。

準備委員は責任とともに不安も大きいと思う。然し恐れることなく確信をもって事に当たって欲しい。又犠牲は大きいけれども少々の無理は押し切ってもこの信徒大会に、皆で参加して祝福を受けた

(福岡城南教会牧師)

青年の問題がまたこのごろの大きな社会問題として関心を呼んでいるが、商都大阪に隣接する名だたる産業都市の尼ヶ崎市で、最近面白い話題がある。▼尼ヶ崎が悪環境の町として知られているためか。求人難もひどく地方からの少年たちの集団就職も敬遠されて思うにまかせない。▼こういうところから、市当局もどうしても町それ自体の環境を改善しなければ、福祉都市宣言をした。▼しかし宣言をしたならばはそういうことにならねばならぬという事になつて Y.M.C.A. をゼビニヶ崎にも建設して働く青少年たちの良い環境をつくらせようという事になつた。▼と云う。▼ところで、二月の或る新聞にひとりの放送作家が「前代未聞のラジオ放送」というニエーヨークの W.F.M.E. 局の試みた聖書朗読放送のことを述べていた。▼これは街頭で任意につかまえた一三七六人の人をなまの朗読者として、創世紀から黙示録までを一人が二五節づつ、足かけ二日間、えんえん十八時間にわたって読みつづげ、その間一般番組は流しつづけたという事である。▼その放送がすばらしい賛意と反響を呼んだ点。それから、果して日本でその様な放送をすることを聖書に對抗できる書物があるだろうか。お経など読みだすものの一冊もたたぬうちに抗議の電話が殺倒するだらうなどと考へてシーンとした気持ちになった、とあった。

▼老若男女、さまざまの職業の人がみんな読める国民の書物として聖書があることは偉大なことである。▼青少年の問題も本質的には、いま日本の社会も家庭も、しんに心の拠り所とすべきものを失っている点にあるのではないか。

信徒大会

信徒大会への希望と期待

攻勢に転ずる好期

奥茂喜一郎

二十才前後の青少年が、社会の下積みになって、働いている。それらの人達と、毎日仕事をしてい

青年の伝道姿勢を

線方 順子

この時報が出るころは、大会の期日が迫り、現地のみなさんは、準備に忙殺されておられること

信徒の伝道態勢を

武田 瑛四郎

私の信徒大会に期待するものは「信徒の伝道態勢の確立への胎動」である。

待望の信徒大会

山本 五郎

今回の信徒大会は文字通り信徒の大会で、説教、聖書研究の他は殆んど信徒が主となり、殊に大会

今次の日本基督教教会信徒大会は、その主催の要旨に於いて、第一は、基督教の伝道の進展を促

「正しき前進を」 今村 武雄

わが日本基督教教会の現状は、ありていに申せば、インテリ信徒の集りにすぎません。教会のしきい

わが日本基督教教会のこのような大会に参加するのは、今度が始めての私です。そんな私が準備協議会に

大部分の教会は「伝道は先生の仕事、我々は多忙で日曜の礼拝に

私に於いて、初めて何がしかのお手伝いをするに過ぎなかつた陋習

私に於いて、初めて何がしかのお手伝いをするに過ぎなかつた陋習

「長老主義的な改革主義に根ざす日本基督教教会が、その良い伝統

問題点を整理して参加したいと思つています。(福岡城南教会青年)

「伝道は先生の仕事、我々は多忙で日曜の礼拝に出るのが精一杯」といった調子

「伝道は先生の仕事、我々は多忙で日曜の礼拝に出るのが精一杯」といった調子

「伝道は先生の仕事、我々は多忙で日曜の礼拝に出るのが精一杯」といった調子

信徒大会の楽屋裏

こぼれ話

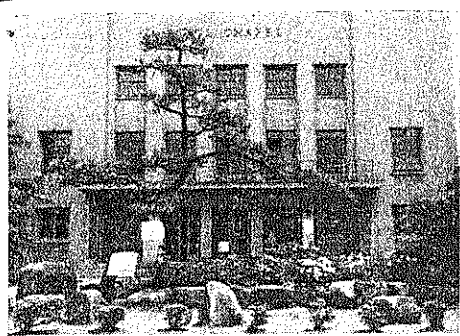
座談会出席者

- 司会者 黒沢久男
- 運営委員長 武田瑛四郎
- 総務 田中 裕
- 会場 服部 孝
- 宿泊 野木源治郎
- 会計 野村昌雄
- 〃 野村 平太良
- 日時 五月十一日
- 於 大阪西教会

司会者 信徒大会の御奉仕、ほんとうに御苦労なさいました。今日は運営にあられたみなさまから、おもてにあらわれなかつた話の、かずかずを伺いたいと思ひまして、まず一番苦労された点は何でしたか。

武田 宿泊のことです。感謝もされたが、苦情も一番多かったよう宿泊は大変でした。

野木 困惑の原因は、宿泊申込をとる時、青色申告(東京)と白色申告(現地)の二本の司令が出たため、青色だけの人は宿の確保が出来ていなかったり、また宿泊



ホール・チャペル

料がちがっていったことなど、それに予約取消が当日になって相当でたことなど。無理に押こんだり、取消したり転手古舞でした。

野村 宿泊者の確定人数をつかむのが毎夜十一時をすぎました。宿泊料が同じであるのに、部屋やふとんの質が違ふことも苦情の種でした。しかし、宿泊料は大阪の旅館としては大変サービスしているのです。

司会者 一番力を注がれた点は何でしょうか

田中 開会礼拝です。礼拝の秩序がそこなれないように、厳粛、整然と。しかも予定の時間内に終らせること。これは苦心しました。これが成功しないと、そのあとのプログラム全体に大影響をきたします。

斎藤 義信君が、奏楽、讃美歌、聖書朗読など礼拝順序すべてを細かくタイムをとってくれました。その結果、説教は三十五分という線が出て、これには説教者の林議長がはたと当惑され、その前夜、説教をつくりなおすというお考えまでもたれました。しかし説教は、この大会をいかに生命線ですから、時間に束縛されないでやっていたらどうということになりまして、一時はどうなることかと心配しました。幸い、配餐、献金など奉仕者にその方法をあらかじめ徹底しておきました。そのため、思いのほかスムーズにことが運び、予定した時間内に終ることが出来ました。礼拝が終わった時、大会は八分通りすんだような気分でした。それにして、いよいよ配餐とい

う時になって、二階にもつてあがるパン皿が二枚不足していることがわかって瞬間しました。思いもよらず、モタモタしては時間内に取返しがつきません。武田 開会十分前に、念の為にカップの点検をしたところ、四かきねブドウ酒ははいっていませんでした。

服部 前後、石田海牧師が指揮して千二百人分の準備をしていたのですが、女学院の夜学が終るのが九時、この時間がくるまで全学消灯電源をさるのでストップ。やむなく翌朝に、残りをする事になりましたが、翌朝は六時すぎから、分科会教室の配置つくりに入人数が動員されて手回取ったわけでした。

司会者 失敗だったことは、

服部 写真屋のことです。当初、時間の節約上、体育館内の上にとにしていました。ところが写真屋はブルサイドがとりやすい、千人位なれている、五分でうつつというのです。まかせておけというわけです。会場係は、千人分の椅子を並べて体育館で待っていたところブルサイドですという事になって、なあとんやという事です。その上、とった写真が駄目ときたのでガッカリでした。

田中 結局、風のため写真機がぶれたわけですね。

武田 失敗ではないが、委員が胸に白、赤のバラの飾章をつけたので、ある方から批判の声がありました。仏教的であるとか。実は本部長のしるしとしてクリスチャン・センターから借用したものです。服部 しかし目印として非常に役に立っていました。ある御婦人から

見取図に一番大事なものがある、てありませんね」と注意をうけました。手洗所のことで、あの目印が、実は苦情受付の窓口となつて効果がありましたよ。

一同 手洗のことは何回もきかれましたね。

司会者 成功した点はどうでしょうか。

田中 千人の集会を運営した経験がありませんので、果して当日、これだけの人数が思い通りに動かせるかどうかという事は不安でした。しかし世戸長老(西宮中央教会、大阪YMCA阿倍野プランチ総主事)のような豊かな経験者を得て、適切な助言と指導をうけたことは何よりでした。

服部 経験者ではあるが、この大会のために特に細かい機動作戦がステージメントと兵隊の訓練、動員に協力して下さいました。

野木 斎藤義信君も、よく立ち働いてくれましたね。

武田 動員した兵隊さんたちは皆よくやってくれました。女子高生でも重い椅子を十脚ほど棒に運んで運搬、翌日は階段をのぼる事が出来なかつたほどです。不平も言わず、この奉仕を通して求道者が三人も受洗を決心しました。

田中 武田 とにかく人を得たことと、一致協力してことにあたれたことは何よりでした。

服部 キリスト教書店が店をだしましたが、カルグワンの註解書のような本もな本は僅か三冊しか売れなかつたそうです。千人もいるのに本が売れないということに本屋自身が感心しているのです。普通、この種の大会ではプラプラ散歩したり、遊ぶものがあるのに、まるで学校か、軍隊のように、会場から会場へ素通りしてしまふ。全力を集中して、緊張して大

会に参加している。さすがは日本基督教会、きびしい教会と聞いていたが大したものである。自分も本が売れないことをたなに上げて感心していました。

司会者 会計のほうはいかがでしたか。

野村 これは感激でした。こういう大会の時は、大抵赤字となり、一部の人々の個人負担で穴を埋めるといふ傾向がありました。今回はこれを黒字にしたいという目標をもち、二月の下旬には個人献金二十万回突破の見とおしがつきました。しかし一方、支出も増大となり心配しましたが、委員会の了解を得て更に個人献金の訴えをしましたところ、これまでとぎれとぎれであったものが、連日送金がつづき、みるみるうちに四五二名から五万四千円、五万五千円に達しました。振替用紙の裏に、三人に二人までは励ましと祈りを記載して送って下さいました。

野木 大会には出られないが、これを用いてほしい。これは謝儀としてもらったものだが、「これは古新聞を売ってつくった代金と献金を加えたものであるか。」「信徒大会の為に積立ててきたもの。」「五人集って千円を。」「無記名で教会員有志が集めたもの。」「等々献金面においてもすばらしい盛り上りをみせました。礼拝献金のごときは六万円の予算が十五万三千円というような次第。日基の前進のいちじるしいしるしがあらわれたと思います。

中会二ニュース

- △東京浦和教会には、電話開通浦和(二二)九八八一
- △京都西都教会は新年堂成り、六月二日の聖日午後二時より、献堂式の予定、京都市北区平野八丁柳町七一(電京都四四二九五)。
- △なほ八田牧師の御家族は同牧師に五月末引越され、一神戸布引教会は牧師館を売り、現在の会堂を三階に改装、牧師館も共に九月完成予定、目下礼拝は神戸YMCAにて行いつつあり、野木牧師は、神戸市黄合区黄合町馬止一三(三軒翠荘五号)へ△広島伝道所主任者就職式五月三十一日(日)手島二郎牧師の広島伝道所主任者就職式、中会派遣委員、樋口春喜牧師によって行われた。
- ▽信徒大会を中心にして、近畿各教会に於て行われた集會はおおよそ次の通りである。
- 四月二十六日朝夕。尾道吉和、中島教師。同夕。大久保、林(三)牧師。同朝夕。岐阜。山田牧師。同朝。同朝夕。岐阜。山田牧師。同朝。同朝夕。同朝。京都吉田、平田、栗原牧師。同朝。大阪。近藤、山下牧師。同朝。大垣。近藤、同夕。荒尾、近藤牧師。同夕。徳野。同夕。福井、宮田牧師。三日月朝。高知旭土屋牧師。同朝。夙川、蓮見牧師。五日(火)豊中、蓮見牧師による修養会。何れも大いなる恵みを受く。
- ▽九州中会連合青年会は、五月五日に福岡城南教会で信徒大会の報告を中心とした地区会を開いた。出席者、六十一名
- 第十四回大会日時変更
- ◎教師試験の都合により、日時を九月二三日より二五日にす。

編集後記

▼青葉の色もいつしか黒ずんで、梅雨期を思わせる頃となった。

▼信徒大会の余熱はまだ去りやらず、口頭により、色々伝えられておる。ことと思われ、ここに文証によって、その真相を明確にしようと努力した。地許は突風去ってホットした感。

▼先日、大阪女学院の院長と会い、大会を評価して「さすがに日本基督教会ですね。何となく筋金を通っておるようです。毎年なされては如何ですか。教田ではどうも一と。大分評判がよいようだ。」

▼出席者の声の中にも見られる一つの大きな力強さを感じたことは事実だ。

▼神の主権への信仰を(黒沢)